

Ⅱ 相談の特徴

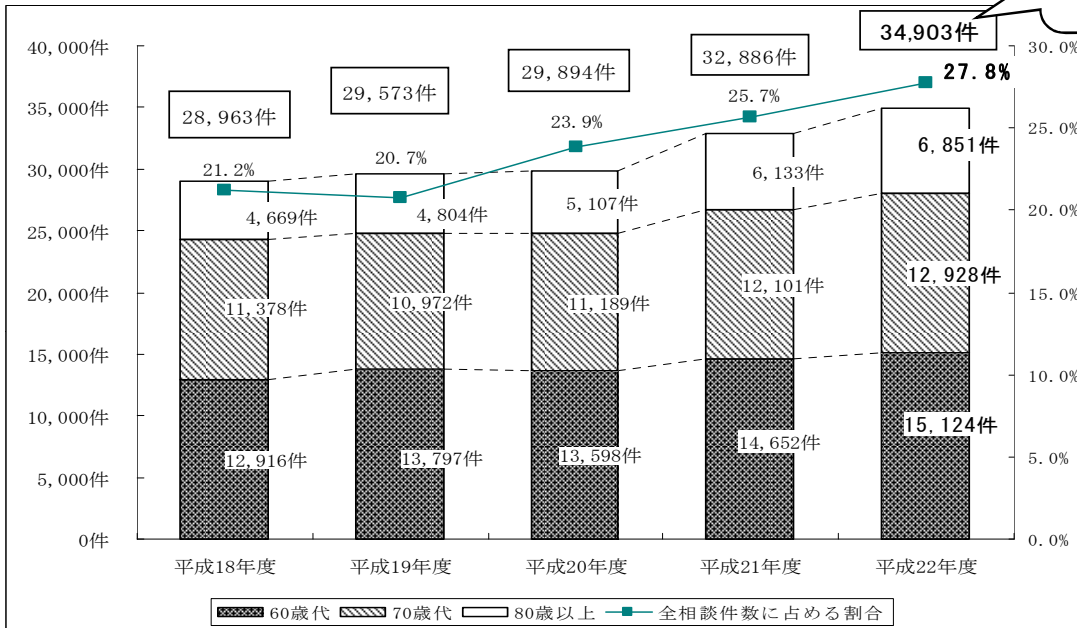
1. 世代でみると

(1) 高齢者の相談 <契約当事者が60歳以上である相談>

- ① 高齢者の相談件数は34,903件で、前年度に比べ6.1%増加し、過去最多の件数となった。全相談件数に占める割合も増加しており、平成22年度は全体の3割近くとなっている。年代別では、どの年代も前年度より増加しているが、特に「80歳以上」の増加の割合が大きい。

平均契約金額は322万円となり、相談全体の金額196万円と比較して、より高額となっている。
(図-2)

【図-2】 高齢者の相談件数の推移



高齢者相談の平均契約金額は**322万円**。
相談全体（196万円）より高額

- ② 高齢者の相談を商品・役務別にみると、「放送・コンテンツ等」「預貯金・証券等」「融資サービス」などが多い。高齢者の年代別でみると、60歳代では「放送・コンテンツ等」が最も多く、70歳代、80歳以上では「預貯金・証券等」が最も多い。(表-2)

【表-2】 高齢者の相談の商品・役務分類 上位5位 (平成22年度)

(単位：件)

	商品・役務分類	22年度	60歳代	70歳代	80歳以上	主な項目
1	放送・コンテンツ等	2,660	1,584	791	285	インターネットを利用した架空・不当請求、ケーブルテレビ・地上デジタル放送等
2	預貯金・証券等	2,617	759	1,169	689	未公開株、公社債等
3	融資サービス	2,370	1,439	770	161	借金による多重債務、金利・利息等
4	レンタル・リース・貸借	1,588	873	512	203	賃貸アパートの修理費や敷金等の返金等
5	工事・建築・加工	1,495	611	530	354	増改築工事、屋根工事、塗装工事等